

3. 研究会の開催

第83回学術講演会・第7回医学研究所発表会

日 時：2008年7月26日（土）13:30～

場 所：きたのホール

総合司会：医学研究所 副所長（腎臓内科部長） 武曾 惠理

学術講演

「From bedside to bench, from bench to bedside ー研究はおもしろいー」

京都大学医学部 血液・腫瘍内科学 教授 内山 卓 先生

研究発表：

第1研究部 座長 皮膚科部長 戸田憲一

「抗好中球細胞質抗体(ANCA)関連血管炎の疫学と診断法の国際比較」 第1研究部 猪原 登志子

第2研究部 座長 リウマチ膠原病内科部長 八木田正人

「進行・再発食道癌に対するがんワクチン療法の試み」 消化器センター外科系副部長 上田 修吾

第3研究部 座長 心臓センター センター長 野原隆司

「人工呼吸中の手術患者で連続測定した呼気一酸化炭素濃度

ー吸入酸素濃度と輸血の影響ー」

麻酔科・集中治療部長 足立 健彦

第4研究部 座長 神経内科部長 松本禎之

「パーキンソン病治療における衝動制御障害と視床下核脳深部刺激療法」 神経内科副部長 斎木英資

第1研究部 座長 皮膚科部長 戸田憲一

「慢性閉塞性肺疾患に対する鍼治療の臨床的効果の検討」 第1研究部 鈴木 雅雄

総合討論及び研究発表へのコメント：

京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学 教授 内山 卓 先生

千葉大学大学院医学研究院 免疫発生学・炎症制御学 教授

(財)田附興風会医学研究所

顧問 鈴木 和男 先生

(財)田附興風会医学研究所

所長代理 山岡 義生

第6回北大阪感染症研究会

日 時：2009年2月6日（金）18:00～

場 所：きたのホール

一般講演：「当院で経験したクリプトコッカス髄膜炎4例」

神経内科 斎藤 聡

「PEG 増設時の抗MRSA薬予防投与の是非」

総合内科 松村 拓朗

特別講演：「免疫不全とその周辺」

サクラ精機(株)学術顧問 青木 眞 先生

第8回小児免疫・アレルギー研究会

日 時：2009年2月7日（土）16:00～18:30

場 所：エコルテホール（阪急電鉄本社ビル 1階）

一般講演：

座長 京都大学大学院 医学研究科 発達小児科学 八角 高裕 先生

① 予後乳児期食物アレルギー児の予後 ー京都市学童アレルギー疫学調査2006からー

滋賀県立小児保健医療センター小児科1) 京都大学大学院医学研究科発達小児科学2)

京都大学大学院医学研究科医学教育推進センター3)

楠 隆 先生1)2)、 森本 剛 先生3)、 向田公美子 先生1)、 八角 高裕 先生2)、 西小森 隆太 先生2) 平家 俊男 先生2) 藤井達哉 先生1) 中畑 龍俊 先生2)

- ② 乳幼児アトピー性皮膚炎における患者指導の重要性 —アンケート調査結果は語る—
大阪府済生会中津病院 小児科、免疫・アレルギーセンター
末廣 豊 先生、藤本 雅之 先生、平口 雪子 先生
- ③ 小児気管支喘息重積発作に対する非侵襲的陽圧換気療法の試み
神戸市立医療センター中央市民病院 小児科
米本 大貴 先生、宮越 千智 先生、田村 卓也 先生、岡藤 郁夫 先生、春田 恒和 先生
- ④ 喘息治療ステップダウンのやり方に関する一試案
スマイルこどもクリニック浦安院
森田 昌雄 先生

座長 兵庫県立こども病院 リウマチアレルギー科 三好 麻里 先生

- ⑤ 当院で治療中の慢性炎症性腸疾患 4 例の経過 —生物学的製剤の適応について—
静岡市立静岡病院 小児科
鶴田 悟 先生、大封 智雄 先生、深山 雄大 先生、新井 真人 先生、東 卓司 先生
- ⑥ 関節炎を認めない全身型若年性特発性関節炎が疑われる 2 例
日本赤十字社和歌山医療センター 小児科
深尾 大輔 先生、吉田 晃 先生、芝 剛 先生、芝 朋子 先生、田部 有香 先生、
内尾 寛子 先生、阿部 純也 先生、濱畑 啓悟 先生、百井 亨 先生
- ⑦ トシリズマブ投与後低補体血症を呈した若年性特発性関節炎の一例
静岡県立こども病院 感染免疫アレルギー科
田口 智英 先生、西庄 佐恵 先生、王 茂治 先生、木村 光明 先生
- ⑧ 難治性の全身型 JIA に対するトシリズマブ療法による、ステロイド薬の中止の可能性について
兵庫県立こども病院 リウマチアレルギー科
中岸 保夫 先生、安部 信吾 先生、笠井 和子 先生、三好 麻里 先生
- ⑨ 本邦における若年性サルコイドーシス 23 症例 ～早期診断・治療を目指して
京都大学大学院医学研究科発達小児科学 1) 神戸市立医療センター中央市民病院小児科 2)
酒井 秀政 先生 1)、岡藤 郁夫 先生 2)、西小森 隆太 先生 1)、田中 尚子 先生 1)、
村田 祐樹 先生 1)、河合 朋樹 先生 1)、斎藤 潤 先生 1)、八角 高裕 先生 1)、
平家 俊男 先生 1)、中畑 龍俊 先生 1)

特別講演：座長 京都大学大学院 医学研究科 発達小児科学 中畑 龍俊 先生

『プロスタグランジンの免疫・アレルギーにおける働き』

京都大学大学院基礎医学系 高次脳科学講座 神経・細胞薬理学分野 教授 成宮 周 先生

国際セミナー

北野病院国際セミナー

日 時：2008 年 7 月 19 日（土）16:00～

場 所：5 階 きたのホール

講 演：1 司会 心臓センター 副部長 春名徹也

演題 Prognostic value of breathing abnormalities
(periodic breathing, Cheyne-Stokes respiration)
in patients with heart failure.

演者 Fondazione "S. Maugeri", IRCCS, Montescano (Pavia), Italy
Dr. Maria Teresa LaRovere

2 司会 看護部長 松月 みどり

演題 Assessment of depression in patients with coronary heart disease.

演者 Department of Physiological Nursing, School of Nursing; and
Department of Epidemiology & Biostatistics, School of Medicine,
University of California, San Francisco, USA
Erika Froelicher

研究所セミナー

第14回

日時：2008年4月9日（水） 17:30～19:00

場所：きたのホール

研究発表：「脳深部刺激療法の実際と今後の可能性」 脳神経外科 戸田 弘紀

特別講演：「ES 細胞移植によるパーキンソン病治療法の開発」

京都大学再生医科学研究所 再生医学応用研究部門

准教授 高橋 淳 先生

第15回

日時：2008年6月17日（水） 17:30～18:30

場所：きたのホール

研究発表：①「医師の就労環境、仕事満足度と医療の質」 健診部 小崎 真規子

②「マウスにおける腸間膜リンパ節とパイエル板の組織発生の違いについて」

呼吸器センター 奥田 雅人

第16回

日時：2008年9月9日（火） 17:30～18:30

場所：きたのホール

特別講演：「ヒト iPS 細胞を用いたこれからの腎臓再生研究」

京都大学 物質—細胞統合システム拠点 iPS 細胞研究センター 特任講師

科学技術振興機構 さきがけ

長船 健二 先生

第17回

日時：2008年10月28日（水） 17:30～19:00

場所：きたのホール

研究発表：①「悪性線種における免疫・粘液染色の診断的有用性についての検討」 産婦人科 榊原 敦子

②「乳癌の微小浸潤・微小転移についての検討」 乳腺外科 加賀野井 純一

特別講演：「乳癌研究の問題点と将来展望」

京都大学大学院医学研究科 乳腺外科学 教授 戸井 雅和 先生

第18回

日時：2008年11月25日（火） 17:30～19:00

場所：きたのホール

研究発表：①「肺癌におけるケモカインの関与についての検討」 呼吸器センター呼吸器内科 松本 正孝

②「ヘパリン前投与下での加速ベッドを使った治療は、狭心症患者の心筋虚血を改善する」

心臓センター 循環器科 宮本 昌一

③「胎生期造血機序の検討」 血液内科 平田 大二

第19回

日時：2008年12月9日（火） 17:30～18:30

場所：きたのホール

研究発表：①「糖尿病合併症に対する降圧薬の効果に関する検討」 糖尿病内分泌センター 池田 弘毅

②「虚血性腎尿細管細胞における細胞間接着装置の変化」 腎臓内科 塚本 達雄

第20回

日時：2009年1月13日（火） 17:30～19:00

場所：きたのホール

研究発表：①「Munc13-4 欠損による家族性血球貪食症候群（FHL3）の乳児例」 小児科 塩田 光隆

②「乳児期の一過性高フェリチン血症 13 症例と家族性血球貪食症候群 3（FHL3）1 症例での

血中サイトカインおよびリンパ球マーカーの比較検討」 小児科 熊倉 啓

特別講演：「膠原病における自己抗体の意義 一多発性筋炎・皮膚筋炎を中心として」

第21回

日 時：2009年2月10日（水） 18:00～19:00

場 所：きたのホール

研究発表：①「当院でのパーキンソン病に対する視床下核脳深部刺激療法における
衝動制御障害例に関する検討」 神経内科 齋木 英資
②「Neurotrophic cytokine を利用した虚血性脳卒中に対する新規治療法の探索
－神経保護治療から神経再生医療への展望－」 脳神経外科 野々口 直助
腎移植経過報告：「北野病院における腎移植症例報告（2006年より）2008年」 腎臓内科 福内 史子

第22回

日 時：2009年3月11日（水） 17:30～19:00

場 所：きたのホール

研究発表：①「Duplex 法超音波検査に基づく下肢静脈瘤の重症度決定および治療について」 形成外科 齋藤 晋
②「直腸と後脛壁の間に存在する直腸脛筋膜に関する献体遺体を用いた解剖学的解析」 産婦人科 古山 将康
臨床研究報告：「骨盤臓器脱に対するポリプロピレンメッシュを用いた新しい外科治療法の工夫」
－Tension-free Vaginal Mesh 手術－ 産婦人科 錢 鴻武

脳腫瘍 2008

日 時：平成20年6月28日（土） 14:30～

場 所：帝国ホテル大阪

内 容：

- 特別講演Ⅰ 「小児悪性脳腫瘍の診断と治療 ～最近考えたこと～」
広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経外科学
准教授 杉山 一彦 先生
- 特別講演Ⅱ 「悪性脳腫瘍に対する臨床試験 ～JCOG Study を中心に～」
国立がんセンター中央病院 脳神経外科
医長 渋井 壮一郎 先生

北野画像研究会

第2回

日 時：平成20年4月19日（土） 16:00～18:00

場 所：きたのホール

内 容：講 演Ⅰ 「心臓イメージングの進歩」
京都大学医学部附属病院 放射線部 小泉 幸司 先生
講 演Ⅱ 「心エコーで心不全を診る」
天理よろづ相談所病院
循環器内科 副部長 泉 知里 先生
講 演Ⅲ 「心不全の病態と治療 ～ホルモンを画像でみる？～」
東京慈恵会医科大学 循環器内科 教授 吉村 道博 先生

第3回

日 時：平成20年10月18日（土） 16:00～18:00

場 所：きたのホール

内 容：講 演Ⅰ 「門前ポジション&AF 補正CTA etc」

- 大津赤十字病院 放射線部 課長 門前 一 先生
- 講演Ⅱ 「次世代ガンマカメラ D-SPECT」
心臓センター・リハビリセンター 大庭 宗夫
- 講演Ⅲ 「3次元画像と新しい画像診断ツール：画像診断自動化への展望」
京都大学 画像診断学・核医学 講師 石津 浩一 先生

院内感染

- ◇日時：平成20年5月14日（水）
場所：きたのホール
内容：血液等汚染事故に関する講演会
「針刺し事故の原因と対策」
ジョンソントﾞジョンソフ エコマーケティング 池田 秀子 氏
- ◇日時：平成20年9月20日（土）、10月17日（金）
場所：きたのホール
内容：結核(結核疑いを含む)新規診断時の取り扱い手順について
- ◇日時：平成20年12月5日（金）、12月8日（月）
場所：きたのホール
内容：多剤耐性緑膿菌検出状況について
- ◇日時：平成21年3月12日（木）、3月13日（金）、3月16日（月）
場所：きたのホール
内容：多剤耐性緑膿菌対策について

きたの看護研究会

- ◇日時：ポスター掲示 平成21年3月1日～11日
研究発表会 平成21年3月4日
- ◇内容：
- ・ 岩谷歩美、須田華乃子、中川清香、高畑有加里、平井恵利
看護の質を向上させるための取り組み
 - ・ 中西奈里、鶴田久美子、山泉、森静子
事例を通じた組織分析
 - ・ 伊藤陽子、小西元子、松尾昌美、谷口美知
看護職として働く母親の葛藤 ～時間管理についての考察～
 - ・ 上田真理子、宮森理英子、前田美里、谷口幸江、松村千春、田村米子
SL理論を学びリーダー行動を振り返る～事例を通して～
 - ・ 佐藤加奈子、小田さちこ、勇 佳菜江、上野華代
私達4人のモチベーション
 - ・ 大西泉、大西泉、椎橋美月、東寛子、大橋香織、井上マリ
効果的なスタッフ管理へのステップ～SL理論を用いて～
 - ・ 坂口晶子、山崎康子、古川幸枝、堀田静枝、松本直美
スタッフとどう関わるか～管理者的視点とは～
 - ・ 北村昭子、菊谷光代、高濱恵枝、阪上佳誉子、香嶋公子
今日から使える知っているようで知らない、ハウレンソウの上手な調理方法
 - ・ 黒井久子、薄木友美絵、中尻かおり、牧野聖子、松田美和子
アンケート調査からみえる報告・連絡・相談の実態
 - ・ 木村幸子、山中和美 横山美穂子、小橋奈美
変化のプロセスを用いて業務改善(内服整理業務)を振り返る

- ・ 前田史子、高濱恵枝、笹野奈美
生活習慣予防のための生活指導に使用するリーフレット その①
メタボリックシンドロームの概念と食事・運動について
- ・ 村田ひろ子、幸田侑枝、宮川千里
生活習慣予防のための生活指導に使用するリーフレット その②
脂質異常症・骨粗しょう症・糖尿病・痛風・禁煙について
- ・ 米倉薫、小谷亜矢子、山田香織、大隈史織、村晴香
①胃切除後の退院指導 ②フットケア指導
③自己注射手技指導 ④mFOLFOX6 療法を受ける患者への指導
- ・ 西井久美子、中川和美、今阪香織
① 喉頭摘出術患者への退院指導
② 血液悪性疾患化学療法後の退院指導
③ 内視鏡的バルーン拡張術予定患者への指導について”
- ・ 中山法子、佐藤真治
糖尿病患者及び人間ドック利用の方への運動指導の取り組み
- ・ 中村由佳、田村米子、桐山恵、越井由佳子、西村晴香、大道朋子、西田麻紀、藤井明美、国光ハナエ
糖尿病患者の集合教育の取り組みについて
- ・ 丹羽郁実、大倉野美幸
糖尿病の口腔ケアの重要性
- ・ 中谷奈央、佐藤さやか、白山悠奈、中野和美、正路郁恵、川島綾子、塩田浩子（医療安全管理室）
持参薬誤薬事例の分析（緊急入院時の内服管理）
- ・ 三谷眞美、下瀬宏美、尾上未帆子、北中幸恵、大橋香織、河野美穂、宮森理英子、吉川由加里、
谷口美知、塩田浩子(医療安全管理室)
情報伝達不足による注射誤薬事例の分析
- ・ 小林玲子、原淳子、古和千夏、大川孝子、吉岡弥生、長門幸枝、中西奈里、塩田浩子(医療安全管理室)
転倒転落事例の分析
- ・ 重田由美
医療連携強化の取り組み
- ・ 鎗野りか
緩和ケア研修開催報告
- ・ 小西元子
外来化学療中に薬剤変更を余儀なくされる患者のケア
- ・ 河原里恵
終末期患者の疼痛コントロールとコミュニケーション
- ・ 鎗野りか
デスケースカンファレンスの有効性 ～普遍的なファシリテートの確立に向けて～
- ・ 佐藤さやか
「安楽死」を希望する患者の苦痛緩和
- ・ 佐野縁、水野亜貴子、藤原香代
臍帯血移植の流れ
- ・ 小田さちこ
疼痛マネジメントの統合的アプローチ
- ・ 中山由美
救命救急センターに勤める新人看護師が危機を乗り越えるためのサポート
- ・ 黒井久子、椎橋美月
9 東病棟における新人教育への取り組み～サブタイトル考案中～
- ・ 和田磨由美、吉川由加里、下店紅江、杉町早苗、他メンバー
ICU グループ活動報告
- ・ 守本倫子、槇尾千晶、杉町早苗、他メンバー

ICU グループ活動報告

- ・ 釘宮真紀、佐藤、小川、堀田
病棟目標達成のための取り組み
- ・ 森下久美子、森下久美子、中村雅美
意識変革から業務改善取り組みの紹介
- ・ 峰 博子
他院と連携した分娩研修
- ・ 豊田久美子
フィッシュ・毎月のレクレーション 毎月の勉強会
- ・ 高松紀子、六車麻美、福永知里
継続受け持ち看護師の役割発揮(仮題)
- ・ 旗手瑞子
看護師外来の活動紹介
- ・ 吉岡美津江、吉岡美津江、阪上佳誉子、積律子
禁煙支援外来の現状
- ・ 萩野栄美、萩野栄美、森静子、辻淳子、松尾昌美、栗林永紀
看護師外来 ストーマ外来
- ・ 三津野圭子、三津野圭子、中村みどり、柳瀬陽子
排尿ケア看護師外来
- ・ 博多恵美、博多恵美、神代英子、楠本美和、安藤ますみ、南口信恵
糖尿病療養支援外来の取り組み
- ・ 中村淳子、中村淳子、三浦和美、田中美恵、小谷亜矢子、辻淳子
看護師外来 フットケア外来
- ・ 鏝野りか、坪倉和子、辻淳子、菊谷光代
リンパ浮腫外来の活動報告
- ・ 柏原知明
化学療法治療期における患者への関わり
- ・ 東 周
ギアチェンジ期の患者への看護 一症状マネジメントと意思決定へのサポート
- ・ 阪上佳誉子、阪上佳誉子、井藤宣子、森静子
レミケードチームの立ち上げと現状報告
- ・ 北村昭子、島本真弓、福坂知美、乾友香、池田美和、原田和子、松尾昌美
楽しい外来作り
- ・ 中村みどり
排尿ケアに関する活動報告
- ・ 杉元佐知子
平成 21 年度 新人看護師実践能力向上推進事業の報告

看護部緩和ケア研究会

日 時：平成 20 年 6 月 11 日(水)/13 日(金)

◇ 内 容：

- ・ 7階東病棟 小田さちこ 看護部 鏝野りか
終末期看護における必要な要素について
- ・ ICU 中尻かおり 看護部 鏝野りか
結核により肺がん手術のできない患者を受け持つ
～未告知がん患者とその家族とのかかわりを通して学んだこと～
- ・ 12 東病棟 中橋磨美 看護部 鏝野りか
予後の告知を受けていない患者の治療への精神的な支持ができる

コミュニケーションとは何かを考える

- ・ 9階西病棟 橋本裕英 看護部 鎗野りか
意識の相互作用とコミュニケーションについての一考察
～夜間不穏状態になった患者との関わりを振り返って～
- ・ 外来Cブロック 柳瀬陽子 看護部 鎗野りか
外来における終末期患者の自己決定への関わり
～症状悪化に対する不安への援助を会話記録を通して振り返る～
- ・ 外来Dブロック 佐々木慶子 看護部 鎗野りか
外来におけるコミュニケーション効果について
～言葉数の少ない患者から看護の専門性を学ぶ～
- ・ 1階西病棟 佐藤さやか 看護部 鎗野りか
看取る家族の言葉から学んだ患者の意思を尊重するためにできること
- ・ 1階西病棟 竹常陽子 看護部 鎗野りか
看護の場における有効なコミュニケーションについて考える
～死を前にし、苦しむ患者の受け入れが困難な家族との関わりを振り返って～
- ・ 12階東病棟 友尻慈子 看護部 鎗野りか
ある患者・家族との関りを通して自分が行った行為が
看護援助であったかどうかを振り返る
- ・ 10階西病棟 須田華乃子 看護部 鎗野りか
化学療法及びペインコントロール中の患者の意思決定へのかかわり
～病状悪化に伴う精神的混乱と看護師の心情、対応について～
- ・ 外来Dブロック 堀 由 看護部 鎗野りか
外来における癌告知の関わりについて
- ・ 10階東病棟 神志那友美 看護部 鎗野りか
援助的コミュニケーション ～患者の苦しみを和らげる援助について～
- ・ 13階東病棟 山田紗代 看護部 鎗野りか
看取りの看護とは何か ～何も出来なかった自分の看護を振り返って～
- ・ 11階東病棟 前田美里 看護部 鎗野りか
デスカンファレンスの有用性を考える
～死に逝く人になぜ私は何も出来なかったと考えるのか～
- ・ 13階東病棟 長谷川弥生 看護部 鎗野りか
終末期患者とその家族とのかかわりを振り返って